

【学習プログラム開発の基礎Ⅰ】

「学習プログラムの企画・立案」

目標： 学習プログラム開発における基本的な理論や手法を学ぶことを通して、地域課題に基づいた学習プログラムの企画・立案ができるようになる。

ぼれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

1

目次

- 1 学習プログラム開発の理論
- 2 学習プログラム開発の実際①
- 3 学習プログラム開発の実際②
- 4 学習プログラム開発の実際③

1 学習プログラム開発の理論

学習プログラムとは

広義の学習プログラム

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

事業名	趣旨	対象	会費	備考
集会	〇〇〇	成人	〇〇〇	
講座	〇〇〇	成人	〇〇〇	三
...	〇〇〇	青年	〇〇〇	二
...	〇〇〇	成人	〇〇〇	

個別事業計画

□□□セミナー

1. 趣旨: _____
2. 主催: _____
3. 対象: 成人
4. 会場: 〇〇公民館
5. 回数: 全5回(1回2時間)
6. 展開

回	子	内容	予定	資料	講師
1	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
2	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
3	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
4	△△△△	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
5	---	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

各回の実施計画

「テーマ: 〇〇〇〇〇〇」

時刻	内容	留意点
〇〇:〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	VTR	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	説明	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	発表	〇〇〇〇

教材: 〇〇〇〇〇〇

用紙の持ち込み

会場:

狭義の学習プログラム

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

年度	事業名	趣旨	対象	会費	備考
...	
...
...
...	

- 1年間に行われるすべての事業(学習機会や学習支援)をまとめた実施計画

(例)

「〇〇町家庭教育支援年間計画」

個別事業計画（狭義の学習プログラム）

〇〇〇セミナー

1.趣旨: _____

2.主催: _____

3.対象: 成人

4.会場: 〇〇公民館

5.回数: 全5回(1回2時間)

6.展開

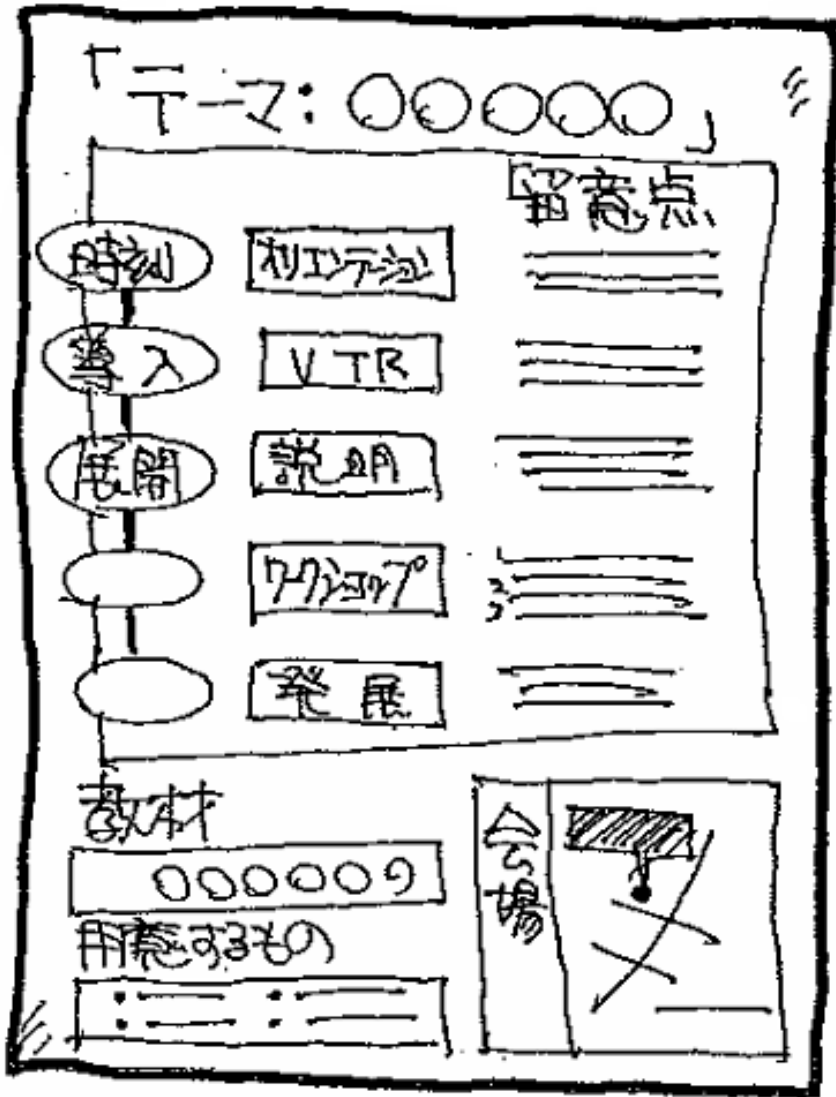
№	子マ	内容	日連	資料	講師
1	〇〇〇	=====	〇〇〇	——	〇〇〇
2	〇〇〇	=====	〇〇〇	——	〇〇〇
3	〇〇〇〇	=====	〇〇〇	——	〇〇〇
4	△△△△	=====	〇〇〇〇	——	〇〇〇〇
5	-----	=====	〇〇〇	——	〇〇〇

○個々の事業ごとに作成される運営計画

(例)

「親の力をまなびあうセミナー」
「親子ほっこりキャンプ」

各回の実施計画



- 各回ごとの詳細な活動内容や順序, 流れ等が示されたもの

(例)

「第1回セミナー実施計画」

学習プログラムの構成要素

- どのようなことを**目的**とし
- どのような**目標**をもって
- どのような**活動**を
- どのような**順序**で行い
- どのような**学習成果**を生み出すか
(学習者の意識や態度, 行動の変容をもたらすか)

学習プログラムの企画・立案・評価の過程

P L A N

学習ニーズの把握や対象の分析



目的, 目標, 対象, 学習内容・方法,
時期, 会場, 回数等を定める。

D O

実施・運営

会場, 設備, 資料準備, 役割分担確認等

C H E C K

プログラム評価,
学習成果の評価 等



A C T I O N

プログラムの分析・改善, 一般化

学習プログラム開発の進め方

学習目的・学習目標の設定

シートA

① 個人の要望 ② 社会の要請

③ 地域課題の発見・分析

④ 学習目的の設定

⑤ 学習目標の設定

「個別事業計画」の作成

シートB

- ・プログラム名・対象・定員
- ・参加費 ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点・学習プログラムの展開
- ・評価（振り返りの方法）

展開

回 日程	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

各回の実施計画の作成

シートC

- ・準備物 ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点

2 学習プログラム開発の実際①

「個人の要望」

個々人の主観的ニーズ

【調べる方法】

- ・ 住民調査 (アンケート)
- ・ 日常的な住民との交流
- ・ 各分野 (青少年教育, 高齢者教育, 家庭教育支援等) における世論調査
- +
- ・ 皆さん自身の思いや日頃の経験

「社会の要請」

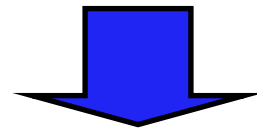
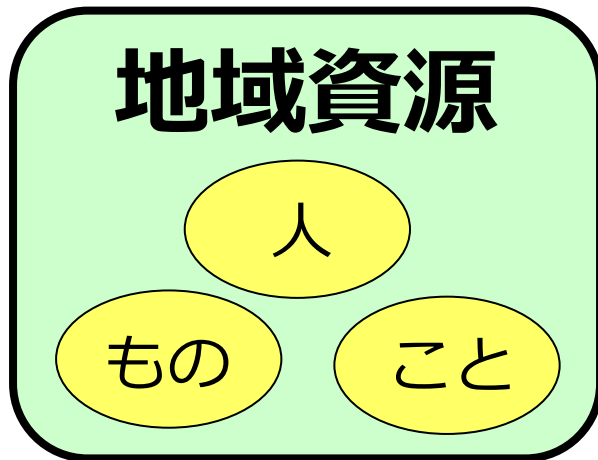
公共的ニーズ

【調べる方法】

- ・ 行政資料
(総合計画, 基本計画, 生涯学習推進計画等)
- ・ 広報資料, 統計資料

客観的データに基づいた整理

「個人の要望」と「社会の要請」



地域課題 の発見・分析

- 地域住民の求めに応じていくべき課題
- 地域で解決しなければならない課題

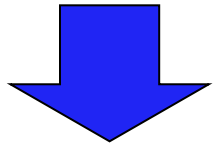
- ・ 地域に必要なプログラムとは？
- ・ 地域課題を解決・改善するプログラムとは？
- ・ 地域資源を活用したプログラムとは？
- ・ 多くの参加者が集まるプログラムとは？
- ・ 予算内で実施できるプログラムとは？

個人の要望

近所の川で、親子で川遊びや魚釣りをしたい。

社会の要請

地域資源を生かした、市民協働のまちづくりを進めたい。



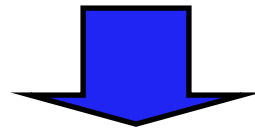
2つをバランスよく組み合わせて、地域課題を1つ設定する

地域課題

- 地域の中心となって流れているぱれっと川が汚れているが、地域住民が川を取り巻く環境問題について自分たちの生活に関連付けて生活していない。

地域課題

- 地域住民の求めに応じていくべき課題
- 地域で解決しなければならない課題



学習目的

- 地域課題を解決することにより、
どのような状態に変えたいのか。

住民自らが、学びを通して地域の問題・課題を解決するための「学び」の場づくり

学習目的

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を、どのような状態にするのか？

地域課題を

こうなってほしいという
理想的な状態を考えてみる。

**学習目的例：▲▲（地域課題）を●●●（意図）
ようにする。**

※ 「●●●ようにする」の部分は、理念的なものでもよい。

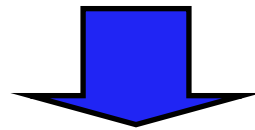
- ・豊かな心を育てる
- ・道徳心を養う
- ・仲間意識を育てる
- ・人材を育成する
- ・ネットワークを形成する
- ・地域の活性化を図る

④ 学習目的の設定

シートA

地域課題

地域の中心となって流れている、ぱれっと川が汚れているが、地域住民が川を取り巻く環境問題について、自分たちの生活に関連付けて生活していない。



浄化設備を設置し、
専門職員がゴミ拾い
やパトロールを行う。

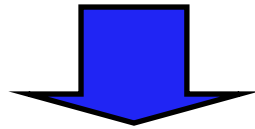
「社会教育」では解決できない！

学習目的

かつて地域資源であったきれいな川を取り戻すために、地域住民が一体となり「川をきれいにする」といった気運を高め、ネットワークの構築を図る。

【例】 ▲▲（地域課題）を ●●●（意図）
ようにする。

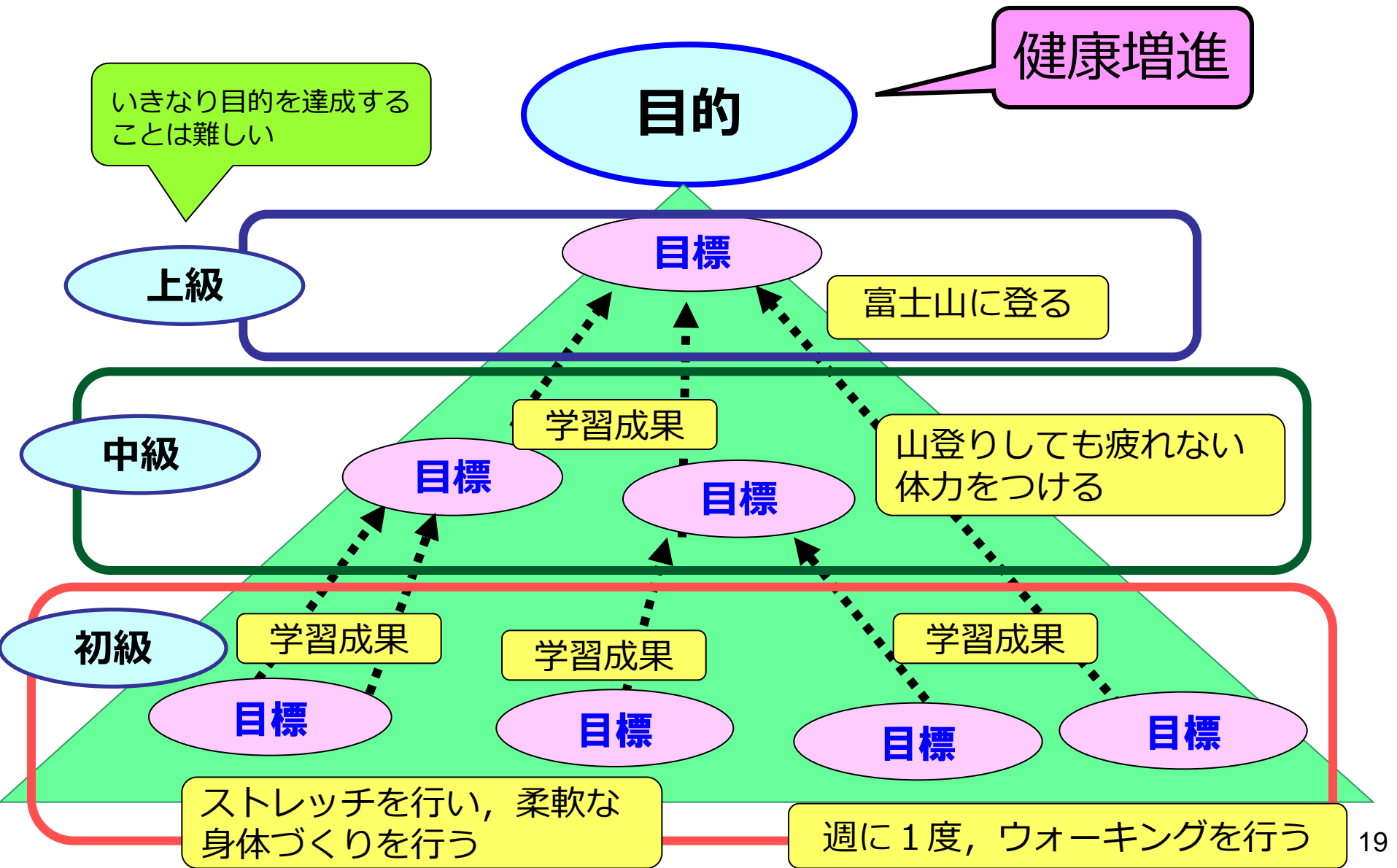
学習目的



学習目標

- 学習によって、地域住民にどんな**知識**・**技能**・**意識**を身につけてほしいのか。

目的と目標の関係



具体的に事業の目標を文章化する。

学習者に、どのような活動によって、
どのような**知識**や**技能**を身につけて
もらいたいのか。また、学習者の、
どのような**意識**を向上させ、価値観
を養ってもらいたいと考えているか？

- ア 知らないことを知るようになること **知識**
- イ できないことができるようになること **技能**
- ウ 意識が変わること **意識**

学習目標

(例文)

「ぱれっと川の歴史や生息している生物について学ぶことで、川をきれいにする重要性を理解する」

「住民同士の交流を通して、ぱれっと川の魅力や川に生息しているホタル等の地域資源の活用について知ることができる」

「・・・を学ぶことによって、○○について理解できるようになる」

学習目標

(例文)

「地域住民みんなが一緒に清掃をすることにより、川の環境を整えることができる」

「住民同士の関係がよくなりお互いの気持ちを伝え合うことができるようになる」

「・・・を体験することによって、○○○について表現できるようになる」

学習目標

（例文）

「子供たちと共に楽しく川の清掃活動を行うことにより、ごみ問題や環境保全の意識が高まり、地元の川の美しさを守りたいという、愛着が生まれる」

「きれいな川を大切に作る活動を通して、将来的にも川をきれいに保とうという思いが芽生え、地域同士の連帯感を高める」

「・・・に参加することによって、○○○への考え方（意識）を広げる」

⑤ 学習目標の設定

ア 知らないことを
知るようになること

知識

イ できないことが
できるようになること

技能

ウ 意識を変えること

意識

ウ意識を
必ず1つ
は入れる。

★学習目標は2つ以上設定

★生涯学習・社会教育の場合は、**ウ意識**が重要

○主語は必ず学習者

○目標は必ずそのプログラム内で達成できるもの
及び達成したかどうかを確認できるもの

3 学習プログラム開発の実際②

1 学習目的

2 学習目標

どのように地域課題を解決し、
どのような状態にしたいのかを
文章化する。

(シートAから転記)

学習課題を学習目標として文章化する。

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②具体的でわかりやすい言葉で示されているか。
- ③学習者に求める知識・意識・態度が目標として示されているか。

(シートAから転記)

3 プログラム名

4 対象・定員

5 参加費

- ・魅力的で夢があるもの
- ・学習目標が伝わるもの
- ・ユニークで短く、人の心をキャッチするもの

目的や目標に合わせて
絞り込む。

施設使用料, 食費, 材料費, 保険料, 計〇〇円 (申込時払い)
など, 内訳や集金日時をはっきりさせる。

6 事前に必要な知識や準備物

緊急時の医療機関の情報収集，しおりやアンケートの作成，必要物品の手配

7 留意点

安全面の配慮，プログラムを通しての配慮
(子供，高齢者ならではの配慮も必要)

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習のテーマ	各回の学習目標(◎) 学習内容(・)	学習支援者	学習場所	評価 (方法)
<p>第1回 ○月○日 (○) 10:00~16:00</p> <p>チラシに掲載する 各回のテーマを内 容がわかるように 簡潔に書く。</p>		<p>◎参加者が…によって ○○になる。</p> <p>①【講義・演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・を知る。(○○分) ・・を聞く。(○○分) <p>②【参加】 ③【参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・を話し合う。(○○分) ・・を計画する。(○○分) 	<p>講師, 指導者, ボランティア</p>	<p>○○公民館 ○○研修室 ○○キャンプ場等</p>	<p>アンケート, インタビュー, 行動観察, 成果物の分析等</p>

- 必ず **3回以上の連続講座**を計画する。
- 学習・活動の成果が、**次の回の学習活動に活用**できるように、各回の流れを工夫する。
 - ・活動の系統性・連続性を重視
 - ・オムニバス形式はよくない
 - ・計画 → 練習・準備 → 発表など
- 地域資源の活用**を意識する。

4 学習プログラム開発の実際③

1 学習テーマと学習目標

(シートBから転記)

2 回・日時・場所

事業の目的や目標を達成するために有効な日時・場所を設定する。

3 講師，指導者，支援者

(シートBの「学習支援者」から転記)

4 準備物

参加者が準備するものと主催者が準備するものを区別して示す。

5 会場図

会場の上から見た図を記載する。
机、椅子や準備物（プロジェクター、スクリーン等）の設置場所を示す。

6 実施計画

(例)

時刻	内容	留意点
9:30	<p>受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付を済ませ、子ども(3~6才児)を託児コーナーへ預ける。 	<p><準備物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内板長机(1), 受付名簿
10:00	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班編成と自己紹介(アイスブレイク等)を行う。 	<p><スタッフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付 職員(1) ・託児ボランティア(6)
10:10	<p>講義「子どもの遊びについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遊びについて」等の講義をしていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会 職員(1) <p>☆適宜、水分補給などの休憩を入れる。</p>

参考文献・資料

- (1) 平成22・23年度生涯学習振興・社会教育関係職員等
研修初級研修資料
(広島修道大学教授 山川肖美, 広島経済大学准教授
志々田まなみ)
- (2) 『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』
廣瀬隆人・澤田実・林義樹・小野美津子著